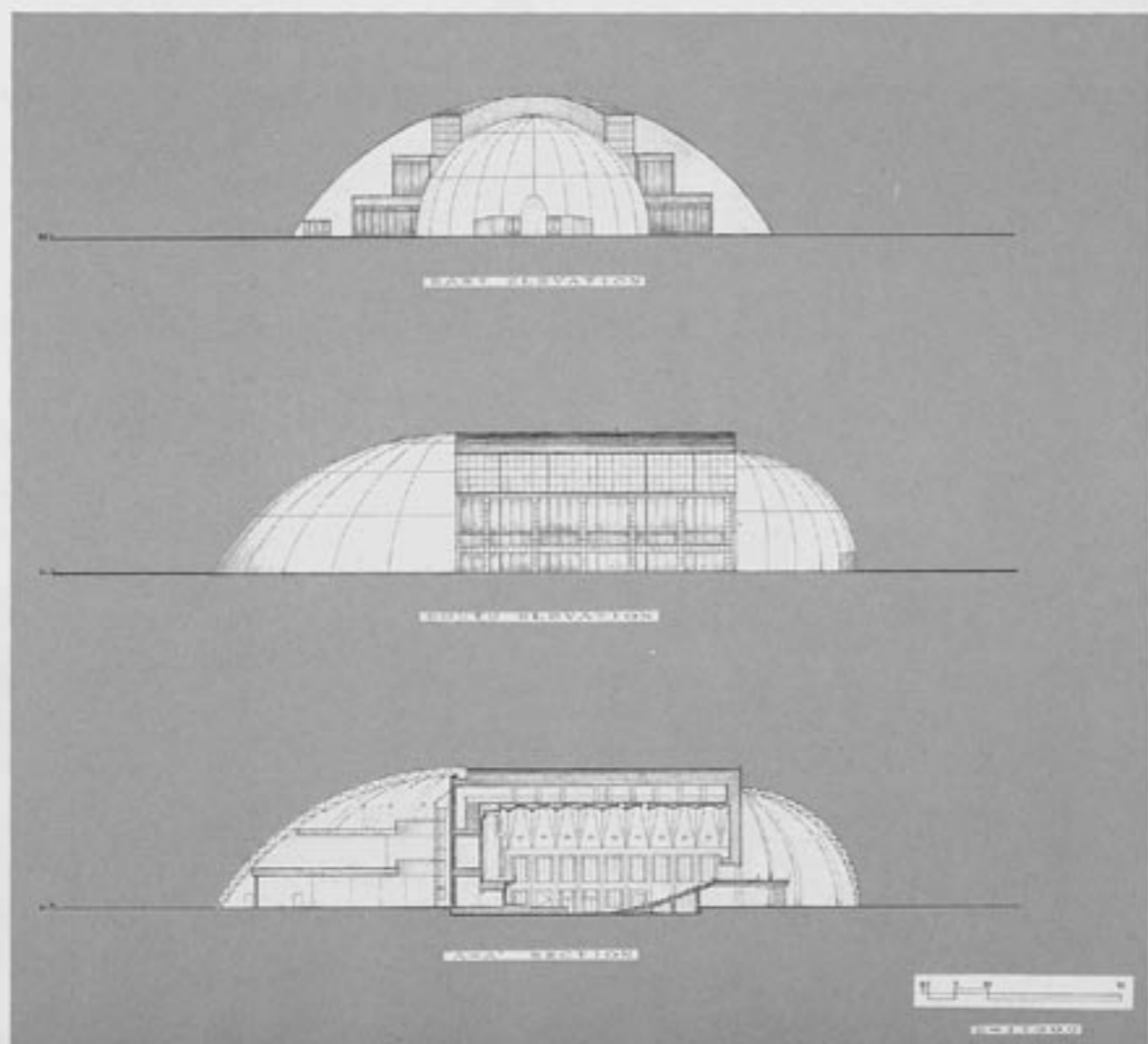


KAI

コンサートホールを主体とした文化施設

関沢 明子



■設計主旨

このKAIは、栗山のしおさい公園に位置し、海を見渡せる眺望と、静かなる遊歩地という静かで落ち着いた趣きのある環境の中にある。ここから海に抱かれる貝がらの中で芸術を楽しみ、くつろげる空間をつくることを計画した。ここから貝がらのKAIと名付けた。その上、この栗山には主だった文化施設がないのが現状である。そこで今回、コンサートホール及び美術展示のスペースをもつ文化ホールを設計した。そしてこの地域の人たちはもちろん栗山を訪れる人々にとっても、文化の交流の場となることを目的とした。また、この中のコンサートホールは、パイプオルガンを有するクラシックコンサートのためのホールであり、中ホールながら充実した音楽を楽しむことができる。これはコンピューターシミュレーションによる音響設計の手法を用いて検討した結果からいえることである。さらにこのホールはどこまで聴いてもほぼ一律に初期反射音が豊富である、ここで奏でる音は広がり感がある。聴く者にとっては、まるで目に包まれているかの様に感じることで、きける長いホールの条件を満たしている。

